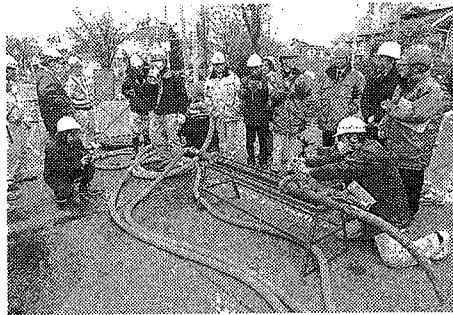


2016年(平成28年)2月12日(金曜日)



東亞グラウト工業は、埼玉県内で初めて「アイスピグ管内洗浄工法」が採用されてい

る白岡市の下水圧送管洗浄現場を公開した(写真)。同工法は、近隣の12自治体から職員約30人と同社の関係者が多

数参加した。

対象管路は径150ミリの鉄管で、洗浄距離は542m。運用開始から30年程度経過しきょう雜物が堆積している可能性や圧送管排出先の硫

東亞グラウト

## 白岡市で現場公開 埼玉初のアイスピグ工法

は特殊アイスシャーベットを化水素発生に伴いマンホール下水管に流すことで、管内汚れを排出する。今回の現場を踏まえ、今回の洗浄作業により管路全体の長寿命化を目指す。

同社の担当者は、「自治体関係者に対し、▽長距離配管の洗浄を一度に実施▽水を主剤とするため管内で詰まるリスクがない▽伏越部や複雑な配管に溜まるきょう雜物や付着物の洗浄が可能▽短時間で洗

浄が可能で負担が少ない」などのメリットを説明した。

洗浄作業では、アイスシャーベットの注入から約20分後

に下流の回収口にピグが到達

した。参加者は回収したピグが汚れを取り込み黒く濁っている状況が、洗浄された流水に変化した瞬間を目の当たりにし、洗浄能力の高さに感嘆の声を上げた。

白岡市の担当者は、「当初、庄送管がこんなに汚れている」という認識はなかった。今回

の洗浄作業でかなりの効果があることが分かった」と話していた。